

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きりんのあくびkidsしゅんとく		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	しっかりとした1日のスケジュールを組んでおり、それに沿って進行している。また不測の事態が起きてしまった際にも臨機応変に対応できるスタッフが必ず常駐している。	子どもたちが分かりやすいように視覚的配慮を多く取り入れている。	子どもたちの体験活動を意識し、土曜日や祝日など朝からお出かけやイベントを月1回以上計画できるように心掛けていく。
2	言語聴覚士並びに5年以上の保育所を配置しており、専門的支援を行っている。	朝の会や終わりの会などで、子どもたちが進行できるようにマニュアルを作成している。スタッフが一緒に取り組んだり、中高生や高学年が主となり進行できるように援助している。	より一層、専門的支援を行えるように環境整備等を充実させていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動療育施設としてスペースは充分にあるが床や壁の角などが固く環境整備が必要と考える。	予算内で環境整備まで回っていない。	滑って転ばないように来所時、靴下を脱ぎ裸足で活動を行っている。
2			
3			